

呼吸器感染症が流行する季節です

呼吸器には酸素を外から取り込む働きがあります。酸素は気道を通って肺に届き、血流に乗って体中の細胞に行きわたり、生きるためのエネルギーをつくり出す燃料になります。エネルギー生成に伴い身体に不要な二酸化炭素がつくり出され、今度は血流に乗って肺に戻され外界へ排出されます。

また、呼吸器には腎臓と協力して、体液を調整し、細胞が生きていける環境を維持する機能もあります。

呼吸器は生きていくためになくてはならない存在です。

呼吸器感染症とは・・・

呼吸器感染症は、病原体（細菌やウイルス、寄生虫など）の感染により、かぜや咽頭炎、気管支炎、肺炎等の形で発病します。多くは、感染した人が咳やくしゃみをすることで飛び散った病原体を含む飛沫を吸い込むことで感染します。

感染対策として・・・

普段から予防することが大切です。

呼吸器感染症が例年流行する秋・冬前は、感染を拡げないために、マスク着用を含む咳エチケット、手洗い・手指消毒、換気など基本的な感染対策を心がけましょう。



主な呼吸器感染症

- A群溶血性レンサ球菌感染症
- RSウイルス感染症
- アデノウイルスと咽頭結膜熱
- インフルエンザ
- 新型コロナウイルス感染症
- 百日咳
- マイコプラズマ肺炎
- レジオネラ症

定点種別	疾患名	状況	48週(11/25~12/1)		49週(12/2~12/8)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ COVID-19	インフルエンザ	—	72	2.88	180	7.20
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		33	1.32	36	1.44
小児科	RSウイルス感染症		1	0.06	2	0.13
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	4	0.25	3	0.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	71	4.44	77	4.81
	感染性胃腸炎	—	82	5.13	85	5.31
	水痘(みずぼうそう)	—	5	0.31	2	0.13
	手足口病	○	92	5.75	69	4.31
	伝染性紅斑(りんご病)	—	7	0.44	14	0.88
	突発性発しん		12	0.75	4	0.25
	ヘルパンギーナ	—	2	0.13	2	0.13
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	0	0.00
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	10	2.00	14	2.80
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		9	1.80	16	3.20
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし